



見附島までの前半と後半で難しさの質が違うルートになります。まず全体の注意点として震災があった地域で路面への影響が大小あり、走行中に意識を必ずしてください。風光明媚な景色に気を取られてばかりいると大変危険です。前半は緩やかなアップダウンからはじまり、海岸線に出ると集落を抜けながら断崖のある急斜面のアップダウンで体力を使います。後半は日が落ちて闇の中を突き進むことになります。街灯の一切ない区間もあります。装備のライトをフルに使うことを推奨します。辛うじて通行可能になった能登半島の再生の今を感じて走ってください。





スタート～見附島

内灘町の大橋を渡ると本格的に能登半島に入ります。路面には細心の注意をしてください。内灘の丘陵には路肩に砂が溜まっています。物珍しさから間違っても踏まないようにしてください。滑ったり、異物を踏んだりします。半島区間は震災の影響で路面は劣悪です。所々穴、割れ目があります。修繕が間に合っていない場所は穴に砂利を詰めたりしています。羽咋までは信号とそこそこの交通量があります。車に気を付けてください。輪島に向かうにつれて人、物が無くなり、路面は更に悪化します。路肩には基本的に近寄らないようにしましょう。また、アスファルトの繋ぎ目が縦溝より広く割れていたり、隆起や穴も深くなっています。見附島に到達するまでは地面の状況を怠りなく確認して走行してください。

見附島～ゴール

鹿波付近に到達する頃には日が落ちていての方が多くおられると思います。フォト3見附島を越えると路面の状況は改善されます。ただし、能登島には民家周辺以外に街灯が全くありません。山間部を通るので野生生物に警戒してください。和倉温泉、七尾以降は補給に困ることは無くなります。氷見市に入ると市街地を走行するので車に気を付けてください。短いですが国道8号線や最後の内山峠は大型トラックが猛スピードで駆け抜けていきます。注意してください。



実は完走したことがなかったBRMでした。一度は落車DNF、台風で中止ということでようやくリベンジが叶いました。一度も拝めていないイカキングを、と思っていたのですが、ポイントを能登島と勘違いしていて完全にスルーしていました。また走れる理由ができてしまいました。輪島から狼煙を経て見附島までのルートは走ったことのある方にはだいぶ様変わりしたのではないのでしょうか。荒涼とした海岸は一種の異世界、海外のような景色でした。また、復興はまだ途中であることを示す天候不順時の通行止めの看板は否応なしに印象に残りました。その中でも開いている飲食店、テイクアウトのお店に寄って少しでもお金を落とすのも復興援助がもしれません。今のところ天気は良いようです、みなさんの無事の完走を祈ります。